



堆肥成分等検査報告書

番号 242

令和 元年9月17日

鶴岡市鶴岡市長 皆川 治 様

一般財団法人畜産環境整備機構

畜産環境技術研究所所長



検査材料受領日 : 令和 元年8月27日

検査材料の名称 : ハイパー有機K

畜 種 : ブロイラー

検査結果を下記のとおり報告いたします。なおこの検査報告書は、当研究所に送付されてきた検査材料について検査したものであって、当該検査材料以外の品質等について証明するものではありません。

検査項目	検査結果		検査方法
水分	13.4	%(現物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
粗灰分	24.8	%(乾物)	同上
pH	8.4		同上
EC	6.5	mS/cm	同上
窒素全量	2.8	%(乾物)	「乾式燃焼法」による。
リン酸全量	3.5	%(乾物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
加里全量	4.3	%(乾物)	同上
石灰全量	3.1	%(乾物)	同上
苦土全量	1.3	%(乾物)	同上
炭素率(C/N比)	13.3		「乾式燃焼法」による。
銅全量	110	mg/kg(現物)	下記*による。
亜鉛全量	290	mg/kg(現物)	同上
鉄全量	2,100	mg/kg(乾物)	同上
マンガン全量	480	mg/kg(乾物)	同上
発芽率	96	%	下記**による。
酸素消費量	8.3	μg/g/min(現物)	「コンポテスター」を用いた***による。
臭気指数相当値	15	(現物)	「におい識別装置」を用いた***による。
放射性セシウム合計	-		NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ使用による。

銅、亜鉛のコメント中の基準値は肥料取締法における特殊肥料の品質表示基準(現物)です

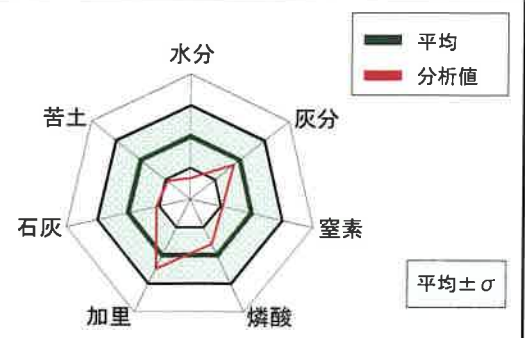
コメント:

水分がきわめて低く、苦土がやや低いブロイラーふん堆肥です。この堆肥に含まれる肥料三要素の全量は、現物1トン当たり、窒素24kg、リン酸30kg、加里37kgです。このうち化学肥料相当分の含量(肥効率)を、窒素25%、リン酸80%、加里90%とすると、化学肥料相当分は、現物1トン当たり窒素6kg、リン酸24kg、加里34kg程度となります。多量施用に注意してください。

銅、亜鉛は基準値以下です。

発芽率は高くなっていますが、酸素消費量(易分解性有機物含量の目安)の値は堆肥化がやや不十分であることを示しています。念のため、施用から作付けまで時間をおくことをお勧めします。水分の蒸発により、堆肥化が途中で停止したと考えられるので、水分調整に注意してください。臭気の弱い堆肥です。

堆肥成分診断



* 財団法人日本土壌協会「堆肥等有機物分析法」(2010年版)に準じた方法
 ** 農林水産技術会議事務局「家畜ふんたい肥の品質評価・利用マニュアル」(2004)
 *** 一般財団法人 畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所方式